

SAIAI CLUB SAITAMA

彩愛クラブ埼玉

(越谷市) 南越谷阿波踊り



彩の国

発行人 ▶ 内田まさ子

発行所 ▶ 公益財団法人 埼玉県老人クラブ連合会 〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65

tel 048-822-7330 fax 048-822-7377

印刷 ▶ 関東図書株式会社 〒336-0021 さいたま市南区別所 3-1-10 tel 048-862-2901 fax 048-862-2908

埼玉県老人クラブ連合会

検索



令和七年度 第一回理事会

令和七年五月十四日（水）彩の国すこやかプラザにおいて、第一回理事会を開催した。出席者は理事 十三名、監事 二名で概要は次のとおり。

◆**第一号議案 令和六年度事業報告について**

◆**第二号議案 令和六年度収支決算について**

第一号議案と第二号議案は相互に関連することから一括して審議が行われ、原案のとおり承認された。

◆**第三号議案 彩愛クラブ埼玉「まごころ協力金の実施に伴う広告協賛、及びチラシの作成について**

彩愛クラブ埼玉「まごころ協力金」の実施にあたり、まごころ協力金の目標を実現させるため、今後、企業からの広告協賛金の実施、また会員向けのチラシの原案を提示し、承認された。

◆**第四号議案 第三十八回全国健康福祉祭埼玉大会地域文化伝承館実行委員会設置要綱（案）について**

令和八年十一月に開催される地域文化伝承館の実行委員会設置要綱（案）が提案され、内田まさ子県老連会長を委員長とする実行委員会の設置が承認された。

◆**第五号議案 令和七年度シルバースポーツ大会の役割分担、係員の依頼について**

役割分担が提案され、司会を玉水副会長が、開会宣言を開催地の会長である藤野副会長が務めることや、各競技種目の担当副会長が決定された。

◆**第六号議案 令和七年度埼玉県老人クラブ大会アトラクションについて**

令和八年二月六日（金）に狭山市市民会館で開催されるアトラクション出演三団体が承認され、加えて県老連女性委員会等によるコーラスを含めた四団体の出演が決定された。

◆**第七号議案 埼玉県老連からの通知方法の変更について**

県老連から市区町村老連事務局へ郵送する通知文は経費削減のため今後はメール配信にしていこうとが承認された。ただし、メール配信に関しては、市区町村老連の状況により柔軟に対応することが申し合わされた。

◆**第八号議案 令和七年度定時評議員会の開催について**

原案のとおり承認された。

県老連事務局

令和七年度 定時評議員会

令和七年六月六日（金）に、彩の国すこやかプラザにおいて定時評議員会が開催された。出席者は、評議員五名と、内田まさ子会長が出席。

◆**第一号議案 令和六年度事業報告について**

◆**第二号議案 令和六年度収支決算について**

第一号議案と第二号議案は関連するため一括して審議が行われ、原案のとおり承認された。

◆**第三号議案 基本財産の取り崩しについて**

事業計画に基づく事業費・管理費の支出合計四千二百万円に対して、収入合計が三千五百五十万円であったため、基本財産から六百五十万円を取り崩して収支を合わせる原案が承認された。

◆**第四号議案 評議員の選任について**

任期満了に伴う評議員の改選が行われ、令和七年六月七日から令

和十一年定時評議員会までの新たな評議員九名が選任された。（別表参照）

新評議員（敬称略）

北部		南部		西部		東部	
寄居町	長瀬町	上尾市	戸田市	越生町	和光市	志木市	白岡市
大野 順一	大澤 喜一郎	刀根 正克	石川 みよ子	酒本 欽六	今井 靖夫	福居 一夫	廣田 勝明
						盛永 光章	

◆**第五号議案 理事の選任（補充）について**

理事については、越谷市の中村剛毅会長の退任に伴う補充選任、及び西部地区の欠員補充のための選任が行われ、左記のとおり二名の新たな理事が選任された。

新理事（敬称略）

西部	東部
所沢市	越谷市
土屋 明	北山 隆司

県老連事務局

地区連絡協議会 開催報告

各市区町村老人クラブ連合会相互の情報交換並びに連絡調整を行うことを目的として、五月に各地区連絡協議会が開催されました。「一 全地区共通の説明事項」「二 地区ごとに行われた会員増強事例発表等」「三 県老連役員候補者の選出等」の三つに整理してその概況を報告します。

一 全地区共通の説明事項

○令和7年度埼玉県老連事業計画
○行政説明
○埼玉県老連の組織の特性や役員会の機能について

二 地区ごとに行われた会員増強事例発表等

(一) 東部地区連協

五月二十八日(水)

あしすと春日部
越谷市「敬友会(亀石二正会長)」
越谷市せんげん台西四丁目の「敬友会」の事例が紹介され、発表は越谷市老連の北山隆司会長が行いました。

「敬友会」では、遠い親戚より近くの他人をスローガンに、自

治会館を拠点に活動されています。「年間一単位クラブ純増二名プラン」にチャレンジし、新規会員を二十五名増やしたことが紹介され、足腰に不安のある方でも参加できるポッチャ大会などが会員増強に効果的だったと報告がありました。

(二) 西部地区連協

五月二十二日(木)

狭山市稲荷山環境センター
狭山市「峰寿会」森山和利会長
「峰寿会」は近くの公民館を活動拠点にし、特にグラウンドゴルフが盛んで、各種大会で好成績を収めています。コロナ禍ではなかなか思うような活動ができなかったのですが、コロナ禍が過ぎ、令和六年頃から活動が活発に行えるようになって会員増にもつながっていたそうです。

(三) 南部地区連協

五月九日(金)

彩の国すこやかプラザ
「伊奈町長寿クラブ連合会」

事務局 渡辺 篤主任
伊奈町では、友愛活動と「仲間をふやそうプラン」の会員増強運動を一体的に実施し、活動の輪を広げることで会員増強に繋がっています。伊奈町の多くの単位クラブがこの取り組みを実施し、その内の半数のクラブが会員純増の実績を上げているそうです。

(四) 北部地区連協

五月三十日(金)

深谷市社協
「深谷市老人クラブ連合会」

中山 保会長

「百歳までの挑戦！長生きに近道はない!!」と題したご自身が実践されている健康法の講義・実

演が行われました。百歳という長寿への挑戦を続けている中山会長が日々心掛けている「毎朝五時に起床・起床してすぐに体操」の中身の清潔を保つなどの実践例を五つ紹介されました。中山会長の独り言・念仏として紹介された「急ぐな！焦るな！ゆっくり確実に！」は名言だと思いました。

三 県老連役員候補者の選出等

令和七年度は任期満了に伴う県老連評議員の改選期にあたりますが、評議員は各地区連協から選出された方を評議員会で選任することになります。このための選出が行われ、各地区から合計で九名の方が選出されました。

また、理事についても市区町村老連会長の退任に伴う補充選任などが行われ、二名の新たな理事候補者が選出されました。

(評議員、理事候補者名は、二ページの定時評議員会報告を参照下さい)
また、女性委員会委員の補充選任が東部地区と北部地区で行われ、左記の三名が新たに選任されました。

新女性委員 (敬称略)

北部	東部
上里町	加須市 (北川辺)
新井	田子
美佐子	登美子
	笹原 ミツエ
	深谷市

県老連事務局



令和7年度

関東甲信越静ブロック

老人クラブリーダー研修会

令和七年六月二十五日(水) 二十六日(木)、長野県軽井沢町で開催されました。会場は「軽井沢プリンスホテルウエスト」で、

関東甲信越静ブロック内の各地から二三〇名が参加されました。

本県からは、藤野銀三県老連副会長と、石山英雄事務局長の二名が参加しました。

◆第一日目

〈基調報告、パネルディスカッション〉

基調報告は「老人クラブの現状と課題」をテーマとして、全国老人クラブ連合会参事 河野敦子氏より、①高齢者を取り巻く状況、②老人クラブと組織の状況、③全国的な取り組みの重点、等について説明がありました。



パネルディスカッションは「笑顔あふれるクラブづくり」をテーマに、静岡

県から二クラブ、長野県から二クラブの計四クラブから事例報告がありました。

①ふじさんシニアクラブ富士宮 富士根南支部

支部長 仲田 郁美氏

八クラブが所属する富士根南支部の活動を紹介。学校応援団や昔遊びの伝承など、ジュニアとの交流の場を設け、地域の方と交流し活性化を図っていく。

②静岡市清水区シニアクラブ連合会八坂北シニアクラブ

女性部長 土村 巴氏

清水区内のクラブ・会員数も減少傾向にあるが、新会員の発掘に向け、笑顔を絶やさず一人一人への声かけや個別対応をし、また他団体との交流にも取り組んでいる。

③上田市高齢者クラブ連合会つくし寿会

会長 柳沢 泉氏

会員の高齢化等のため一時は解散寸前となったつくし寿会

は、何事も苦にならない範囲で行いましょう」を合言葉に、同好会などの自主活動主体への転換や行政と連携したフレイル予防活動などに取り組み、再生を図っている。

④安曇野市シニアクラブ連合会 岩原豊章会

会長 宮島 千里氏

高齢者への勧誘だけでなく、これから高齢者になる世代に対して「高齢者クラブに楽しい活動」のイメージを持ってもらい、将来、参加したいという思いを育んでもらうことなどを目指して、会員の持つ知識や経験を地域に伝えている。

◆第二日目

〈表彰式〉

令和七年度関東甲信越静ブロック連絡協議会会長表彰の表彰式が行われ、四十名が表彰されました。埼玉県老連からは、納美恵子理事(さいたま市)が表彰されました。

〈講演〉

「『笑いヨガ』体験」小林知美流コミュニケーション術&健康法」と題して、長野県を中心に活躍しているタレントの小林知美氏による講演が行われました。



特に健康法に関して、病気になるにうにするには免疫力を高めるためのナチュラル・キラー

細胞(リンパ球)の活性化が大事で、この細胞の数を増やし活性化させるためには適度な有酸素運動などのほか、『笑い』が効果的であるということです。

『笑いヨガ』は、笑いの体操とヨガの呼吸法を組み合わせた健康体操で、元氣あふれる小林知美氏の指導のもと、皆で『笑いヨガ』の体験をすることができました。

〈閉会式〉

次回開催県である静岡県老連の山崎会長から「来年は日本一の富士山のある静岡にぜひお越しください。リーダー研修会が、日本一の研修会となるよう準備を進めていきます。」と挨拶があり、二日間にあたる研修会が閉会となりました。

熊谷市 藤野 銀三
事務局長 石山 英雄

令和7年度

健康づくり大学 入学式

令和7年6月13日(金)「健康づくり大学入学式」が、春日部市教育センターの視聴覚ホールに於いて、入学生55名の出席で開催された。

◆開会式

県老連事務局椎名主幹が司会を担当。

開会の言葉は、内田親県老連理事。続いて内田まさ子学長からは、「友愛活動、会員増強」に努めましよう」と挨拶。



地元(春日部市)の市長挨拶を春日部市役所の砂田高齢者支援課長が代読。

今年度は市政20周年を迎える。事業を活発に行い、「春日部に住んで良かった」と思える市政を目指す。



次に、春日部市いきいきクラブ連合会の玉水きみ子会長からは、「新しい地域の仲間を増やし、健康づくりに励み、入学して良かったと思えるような、楽しい学生生活にしましょう!」との挨拶があった。



来賓あいさつは、地元選出の白土幸仁県議会議員長が、年に一回、新しいことを一つ覚えるようにしている。

健康づくりで、仲間の輪を広げようと激励。

埼玉県福祉部地域包括ケア局長の山口達也様は、

令和8年11月に「ねんりんピック」が開催される。

老人クラブは、高齢者の経験・知恵を活かした「地域文化伝承館」で仲間づくりに花を咲かせて下さいと話された。

◆祝電の紹介

「全老連会長」からの祝電を茂呂義雄県老連理事が披露。

◆学生のことは

県老連の役員紹介の後、学生のことばは、納美恵子県老連理事が、「健康で、生きがいをもって、地域に貢献しましょう」と力強く話された。

◆閉会のことば

佐藤勝男県老連理事

小中学生から見て、「大人になったら、あの人のようになりたい。」と思われるような高齢者を目指しましょう。

◆記念撮影

全員が笑顔で記念撮影



◆オリエンテーション

椎名主幹より、授業の日程説明があり、班ごとに自己紹介、意見交換の後、班長を選出した。

8人の班長の中から、学生委員長と学生副委員長を選出した。

○班長

- 1班 伊藤 有三(春日部市)
- 2班 村井 久雄(春日部市)
- 3班 今村 純雄(春日部市)
- 4班 菊地 靖孝(三郷市)
- 5班 並木 則夫(春日部市)
- 6班 林 重盛(春日部市)
- 7班 三ノ輪テル子(春日部市)
- 正副学生委員長

- 委員長 伊藤 有三(春日部市)
- 副委員長 菊地 靖孝(三郷市)

春日部市 今村 純雄



令和七年度 新任・中堅単位クラブ会長研修会

令和七年七月二十五日（金）、彩の国すこやかプラザセミナーホールに於いて、約百名の出席のもと開催されました。今年度より、中堅単位クラブ会長も参加が出来るように変更しました。



県老連副会長矢部利夫氏の開会のことばに引き続き、県老連会長内田まさ子氏より「酷暑の中でのご出席、誠にありがとうございます。」と労いとともに、いつものがらの爽やか、且つ丁寧なる主催者の挨拶をいただきました。

オープニング

県老連女性委員会の有志によるコーラスの曲目は、「いい日旅立ち」「川の流れるように」です。女性委員会の皆様は手作りの工夫を凝らした帽子とコサージュ姿で華やかに歌い上げ、皆様から拍手喝采でした。

講演

「老人クラブリーダー必携について」

「老人クラブリーダー必携」は、全国老人クラブ連合会が発行する、老人クラブの組織や運営、活動の基本的なことが分りやすくまとめられた資料です。新任の単位クラ

ブの会長が老人クラブの基本を学ぶため、また中堅の会長が現在のクラブ運営を振り返るための資料であり、講師の石山事務局長からは「老人クラブ運営指針」の説明を中心に、要所を押さえた講義がありました。



事務説明

「埼玉県老人クラブ連合会とまごころ協力金について」

この四月から「彩愛クラブ埼玉まごころ協力金」が始まりましたが、協力金の実施主体である埼玉県老連の組織の特性や役員会の機能などについて、石山事務局長から説明がありました。

講義・実技

県老連専任講師田中道子氏「座ったままでできる簡単リラックステラップ」

講師の田中先生から「タオルを使って楽しく運動しましょう。そして、同時に大きな声を出しましょう。」との挨拶で始まり、約一時間、先生の指導のもと、全員でいい汗をかき、リラックスできました。



一連のカリキュラムの終了後、県老連副会長玉水きみ子氏より研修の総括のお話をいただき、最後に県老連理事矢島繁太郎氏の閉会の言葉で閉会となりました。

さいたま市 矢部 利夫

令和七年度

ワナゲ・マグダーツ普及講習会

6月17日、彩の国すこやかプラザ2階のセミナーホールに於いて、シルバースポーツ大会の競技種目であるワナゲ・マグダーツの普及講習会を開催しました。この日、外は真夏のような暑さの中、50名の参加がありました。

開会の挨拶は、シルバースポーツ大会の開催地を代表して、熊谷市長寿クラブ連合会長（県老連副会長）藤野銀三氏から頂きました。講師は、フレンドリー情報センター理事である西尾和久氏に担当頂きました。関西人特有なジョークも交えながら楽しく進行していました。

初心者向けに「公式ワナゲとは」、「競技の種類・得点の数え方」等の説明がありました。

準備体操は、ゆっくり時間を掛けて体や手首、足首等を動かし丁寧な指導を行っていました。輪の



投げ方は、初めての方を数名選抜き、投げ方を伝授。近距離でも初心者の輪は、なかなかのに入らないですね。

マグダーツについても丁寧な説明と指導がありました。マグダーツは、矢の先がマグネットになっていて安全で手軽に楽しく出来るように改良・考案した新しいス

ポーツです。参加者の皆さんは、2つの競技を真剣に楽しみながら受講していました。
講習会の最後に石山英雄県老連事務局長より閉会の挨拶があり、楽しい雰囲気の中で終わることができました。



136号
特集

南越谷阿波踊り

越谷市

広報委員会はこの度、本誌に県内各市区町村の自慢の行事を特集し、シリーズでご紹介する企画を始めました。その初めは東部地区・越谷市の阿波踊りを紹介いたします。

南越谷阿波踊りは、日本三大阿波踊りの一つです。阿波踊り“流し踊り”の醍醐味は、「踊る阿呆にみる阿呆」の踊りを間近に観て、踊り手と見る側が一体となり、共に楽しむことではないかと思えます。

踊り手は、「女性」は浴衣に手甲・下駄ばき・編み笠姿でより美しく、「男性」は浴衣の着流し・下駄ばき・手拭い頬被り姿でより男らしく踊ります。笛・鉦・三味線等の鳴り物に乗せてダイナミックに踊る阿波踊りは、今や越谷市民が誇る夏の風物詩になっています。



南越谷阿波踊りの概要

1 令和7年 第39回の開催日

今年の南越谷阿波踊りは4回、次の通り開催致します。

7月27日(日)
プレ阿波踊り8月22日(金)
前夜祭8月23・24日
(土日)
本祭9月28日(日)
アンコール
阿波踊

2 阿波踊の「種類」

踊りは、次の4種類。多彩な踊りをお見せします。

流し踊り

踊り手・鳴り物衆が近くで見られ、観客と一体感。

組踊り

踊り・踊り手が、横や後ろから見られる。

舞台踊り

客席でじっくり、踊りが見られる。

輪踊り

徳島地元連独特の輪踊り。



3 阿波踊の「会場」

南越谷駅の周辺9会場で実施しています。特に、「東口・南通り」、「西口・南通り」の会場は、阿波踊りをゆっくりご覧になれる場所です。



4 前年、令和6年第38回南越谷阿波踊り「参加連(グループ)」

令和6年の参加連は次の68連でした。

- 南越谷 地元連 :51連
- 本場徳島 招待連 :4連
- 関東近郊 連 :13連



発祥の由来

埼玉県越谷市は、市民が昼間は東京で働き、夜は越谷で寝るだけの方が多いため、「東京のベッドタウン・埼玉都民」とも呼ばれ、地域への愛着が希薄な傾向があった。「皆が楽しめて、心が一つに纏まるような催しを創れないか」と考え、越谷市に本社がある事業家が故郷徳島県の阿波踊りを開催(1985年・第1回)したのが始まりです。

当時の来場者は3万人、現在は約70万人に増加しています。



越谷市 北山隆司

「ねんりんピック 彩の国さいたま」 ～令和8年度 ご来場を

2026 地域文化伝承館について」 心よりお待ちしております！～

第38回全国健康福祉祭埼玉大会が令和8年11月7日(土)～10日(火)に開催される。

その中で、老人クラブが企画・運営する「地域文化伝承館」は、高齢者の知恵と経験、技術を活かして取り組んでいる伝承活動や健康・生きがいきづくり活動や健康・生きがいきづくり活動を紹介する場所です。

1 地域文化伝承館の内容 県下老人クラブ連合会による実演・体験交流・発表

- (1)地域文化・生活文化の伝承活動
- (2)地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能の伝承活動
- (3)老人クラブが日ごろから取り組んでいる健康・生きがいきづくりの活動



埼玉県マスコット「コロン」も来場予定です。

2 日程・場所

開会式・閉会式	令和8年 11月8日(日)	彩の国さいたま 芸術劇場・大ホール
ステージ出演	令和8年 11月8日(日)	彩の国さいたま 芸術劇場・大ホール
出展ブース	令和8年 11月7日(土)～ 11月9日(月)	大宮ソニックシティ 第一展示室



彩の国さいたま芸術劇場 (HPより)



大宮ソニックシティ

3 ステージ出演とは？

地域における文化伝承活動の紹介

例：獅子舞、お囃子、舞踊など



ねんりんピックはばたけ鳥取2024
(鳥取県「伝承館報告書」より)



ねんりんピックはばたけ鳥取2024
(鳥取県「伝承館報告書」より)



ねんりんピックはばたけ鳥取2024
(鳥取県「伝承館報告書」より)

4 出展ブースとは？

伝統芸能の体験・実演

例：うちわ作り、凧作り、わら細工の実演など



ねんりんピックはばたけ鳥取2024の様子
(鳥取県「伝承館報告書」より)



切り絵展示及び実演・体験の様子
(神奈川県「伝承館報告書」より)



切り絵展示及び実演・体験の様子
(神奈川県「伝承館報告書」より)

5 参加方法等

詳細が決定したら、各市区町村老連へ通知いたします。また、多くの皆様に楽しんでご参加いただけるように参加費は無料といたします。仲間を誘って、是非、ご来場下さい。

ねりんピック彩の国さいたま2026

「地域文化伝承館」第二回実行委員会 開催される

令和八年十一月に埼玉県で「ねりんピック彩の国さいたま2026」が開催されます。

「地域文化伝承館」の開催に向けて、第一回実行委員会が開催されました。

○期日 令和七年八月二十七日(水)
○会場 大宮ソニックスシティ

一 実行委員会委員

委員は県老連役員を中心に、さいたま市老連役員、学識経験者、行政職員等の二十名で構成されました。

二 協議内容と結果

(一)委員長・副委員長の選任について
委員長には、規定により内田まさ子県老連会長が選任されました。副委員長には、学識経験者から宮崎三津子氏（元埼玉県老連次長）、



丸山眞司氏（元県議会議員）の二名が選任され、埼玉県老連副会長から関根清一氏、埼玉県老連理事から岩澤勝徳氏の計四名が選ばれ承認された。

(二)「地域文化伝承館」検討委員会委員名簿について

実行委員会と共に、ステージ出演団体との調整や会場運営、記念品の作成などの具体的な事項を検討するために、検討委員会が設置

されました。検討委員会委員は、広報委員会委員六名で構成されます。

(三)「地域文化伝承館」の会場について
会場と期日が承認され、左記のとおり決定しました。

○開会式・閉会式・ステージ出演
期日 令和八年十一月八日(日)
会場 彩の国さいたま芸術劇場
大ホール

○出展ブース
期日 令和八年十一月七日(土)
九日(月)

会場 大宮ソニックスシティ第二展示室
四「地域文化伝承館」のステージ
出演・出展ブース候補団体(案)について

ステージ出演は十四団体、出展ブースは四団体が承認されました。
五「地域文化伝承館」記念品の候補(案)について

地域文化伝承館の参加者に配布する記念品は老人クラブ会員(女性委員会を中心に)が作成する手作品で承認されました。

六「地域文化伝承館」参加者への「おもてなし」の対応(案)について

芸術劇場では草加せんべいと秩父名水によるおもてなし、大宮ソニックスシティでは和菓子と抹茶によるおもてなしで決定しました。

(七)ねりんピック彩の国さいたま2026「地域文化伝承館」事業スケジュールについて

実行委員会は計六回、検討委員会は計十三回の実施。開催告知用のポスターやチラシの作成は令和八年一月を目指し、会員の皆様をはじめ、全国の関係者に配布することが申し合わされた。

(八)令和七年度「地域文化伝承館」収支予算書について

準備期間となる今年度の予算は六百四十一万五千円が計上されており、同額の補助金が埼玉県から交付されることで決定した。

(九)ねりんピック岐阜2025「地域文化伝承館」閉館式の臨席について

地域文化伝承館の閉館式に内田会長が出席し伝承館旗を引き継ぐことに決定した。

事務局長 石山 英雄

春日部市いきいきクラブ連合会

2泊3日の旅 (71名参加)

春日部市いきいきクラブ連合会は、5月20日から、恒例の「2泊3日の旅」を実施した。

今回の旅行は、

さわやか南信州2泊3日の旅
標高2612m世界へ

「駒ヶ岳ロープウェイ」と

山河に和む「早太郎温泉」

と、銘打つての旅行であった。

◎初日

大型バスと中型バスに分乗して、春日部市内を出発。

途中、峠の釜めしで昼食のあと、諏訪大社上社本宮参拝。

御柱が境内に4本立っているのに驚いた。

16時過ぎ、駒ヶ根市の清流・太田切川のほとり、早太郎温泉「二人静」に到着。

※早太郎温泉に伝わる伝説

光前寺ゆかりの霊犬「早太郎」がその名の由来。

今から約700年前、静岡県磐田地方（見付天神社）で、お祭り



の日に、白矢を当てられた家の娘を生け贄として、神様に捧げる、「人身御供」という悲しい習わしがあった。

早太郎は、この話を旅の僧に聞いて、磐田まで駆けつけ、悪（老狒々）を退治した。

早太郎は、傷を負いながらも、光前寺まで100キロ以上を歩いて帰り着き、和尚さんに怪物退治を知らせて、一声高く吠えて息を引き取った。現在、光前寺の本堂の横に、早太郎のお墓がまつられている。

・この縁で、今でも駒ヶ根市と磐田市は、友好都市としての交流がある。

・光前寺

天台宗信濃五山の一つで、本尊

は、不動明王。
18時半からの宴会は、14演目のカラオケや踊りで盛り上がった。

◎2日目

中央アルプス・駒ヶ岳ロープウェイで、標高2612mからの絶景を堪能。

1662mの「しらび平」駅までの谷が深く、肝を冷やした。

ロープウェイで、一気に千m上昇。

千畳敷カールは、雪で真っ白。宝剣岳を望む素晴らしい景観に満足の顔々。

光前寺参拝後、道の駅「信濃路」で昼食。杵原学校へ。

1時限目は、社会科。2時限目は、



音楽の授業。

小学生の頃

を思い出して、

「ふるさと」

を大声で歌った。

一人一人が、

優秀な成績で、

卒業証書が授

与された。

2日目の宴会は、出演希望者が多くて、20演目をこなした。

この元気が春日部パワーだ。

◎3日目（最終日）

最初に、「馬籠宿」へ。

江戸時代から続く風情ある街並みが素晴らしい。

馬籠宿から、車で10数分で、「妻籠宿」着。

昭和51年に、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、宿場景観が保存されている。

午後1時半頃、遅い昼食のあと、帰路についた。

午後6時頃、狭山PAで解散式を行い楽しかった、南信州2泊3日の旅を終了した。

春日部市 今村 純雄

埼玉県議会 白土幸仁議長への表敬訪問

令和7年5月2日（金）内田まさ子会長（川口市）・玉水きみ子副会長（春日部市）・矢部利夫副会長（さいたま市）及び石山英雄事務局長・椎名久美子主幹が埼玉県会議長就任への祝意表明を兼ねて白土幸仁県議会議長へ表敬訪問を行いました。（県議会議事堂）

○内田会長のあいさつ

「本日はお忙しいところ、表敬訪問の時間を頂きまして感謝申し上げます。また、このたびは埼玉県会議長に就任され誠におめでとうございます。私ども「県老連」



は埼玉県庁との密接な関係にあり、おかげさまで様々な事業を行っています。その中でも令和7年度は「埼玉県老人クラブ健康づくり大学」を白土議長の地元の春日部市において開校いたします。又、熊谷市で開催する「シルバースポーツ大会」では大野県知事のご来臨が決まっておりますので、議長にもご来臨いただけますようお願い申し上げます。」

○白土幸仁県議会議長

「県議会としても、老人クラブの皆さまの地域貢献活動を応援していきたい。また、今年は、いわゆる団塊の世代の方々が75歳以上の後期高齢者になる年で、今後、団塊の世代と老人クラブの皆様が一緒になって地域を盛り上げていく、と、仲間づくりや健康づくりにつながる熱いメッセージを頂きました。最後に「令和8年には、埼玉県で全国健康福祉祭（ねんりんピック彩の国さいたま2026）が開催されます。その中の地域文化

伝承館を担当する老人クラブの活躍を期待しております。」とのお言葉を頂きました。

●白土幸仁県議プロフィール

自由民主党議員団 春日部市出身 東第7区（春日部市）選出4期目 第129代埼玉県議会議長



埼玉県地域包括ケア局長との意見交換会

白土幸仁議長への表敬訪問の同日、県福祉部幹部との意見交換会も実施されました。県側出席者福祉部地域包括ケア局 山口達也局長・ねんりんピック推進課 小松素明課長・高齢者福祉課 福島真副課長／佐藤萌実主任
終始和やかな雰囲気の中、真剣かつ活発な意見交換が行われました。

○山口達也地域包括ケア局長

「来年のねんりんピック彩の国さいたま2026は全国から埼玉県にお越し頂く方に、情報発信をする良いタイミングです。老人クラブの会員増強についても良い機会だと思っております。積極的に情報発信・PRに努めて下さい。本年から福祉部内にねんりんピック推進課を設けました。地域文化伝承館は、県老連と共に進めてまいります。」とのお言葉を頂きました。

さいたま市 矢部 利夫

いきいき活動を
支える

老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
- ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
- ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。

※保険担当者とは・・・加入者の取りまとめ、加入申込書の記入、申込内容確認の窓口等をしてくださる方です。会長様は特に登録いたしませんので実務をしてくださる方をご登録ください。全老連保険係や保険会社から照会の連絡が入る場合があります。

2025年10月始期
2026年 4月始期版

老人クラブ 傷 害 保 険 〈掛金・補償内容〉

自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)。

一部のタイプでは他人の物を壊したり、
他人にケガをさせた場合*1も対象となります。1人1口加入で年齢制限はありません
(複数口加入はできません)。*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

● 保険始期月
および保険期間

保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
2025年10月	2025年7月15日～9月15日まで	2025年10月1日午後4時から1年間
2026年 4月	2026年1月15日～3月15日まで	2026年 4月1日午後4時から1年間

● 掛金タイプと補償内容

新「熱中症危険補償特約」が全タイプにつきました!!

【クラブ活動中とは】 所属する単位老人クラブがあらかじめ計画・実施する活動、市区町村(地区・校区)から全国までの各老連が主催する活動イベント、老人クラブ関係者として他団体の活動への参加(往復途上を含む)

タイプ 補償内容 (保険金額)	掛金 (1人あたり)	24時間型 クラブ活動中(往復途上を含む)・クラブ活動中以外を問わず 日常生活全般(24時間)のケガを補償します。 【補償額】上段:活動中のケガの補償額 下段:(活動中以外のケガの補償額)				活 動 型 クラブ活動中(往復途上を含む)の ケガを補償します。	
		12,000円/年	8,000円/年	5,000円/年	3,500円/年	1,000円/年	500円/年
死亡保険金		410万円 (250万円)	290万円 (210万円)	270万円 (190万円)	170万円 (125万円)	80万円	45万円
後遺障害保険金		160万円 (一)	80万円 (一)	80万円 (一)	45万円 (一)	80万円	45万円
入院保険金日額 1事故につき30日限度		6,300円 (2,500円)	3,370円 (1,420円)	3,320円 (1,370円)	2,070円 (1,080円)	1,950円	980円
通院保険金日額 1事故につき30日限度		3,900円 (1,350円)	2,010円 (760円)	1,970円 (720円)	1,140円 (550円)	1,250円	590円

■ 8,000円、12,000円タイプには「個人賠償責任補償」(1億円限度)、「地震・噴火・津波補償」の特約がついています。

老人クラブ 賠 償 責 任 保 険 〈掛金・補償内容〉

他人の物を壊したり、ケガをさせた時*1の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対 象: 単位老人クラブ(全員加入が条件となります) ② 保険期間: 毎年10月から1年間(中途加入可)
③ 掛 金: 1人年額100円(最低引受保険料3,000円) ④ 補 償: 支払限度額1億円

*1 法律上の賠償責任が伴う老人クラブ活動中の対人・対物事故が対象です。往復途上は対象外。



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

加入申込書等、
資料請求先

専用FAX03-3597-8767

お問い合わせ先
ご相談

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス hoken@senior-ltd.com

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

受付時間 9:30から12:00まで
13:00から17:00まで

土、日、祝祭日、
年末年始休

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

【老人クラブ傷害保険】老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(傷害補償)

【老人クラブ賠償責任保険】施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

2025年3月作成 24TC-007888

彩愛クラブ埼玉まごころ協力金

～老人クラブを共に守ってください！～

1. 『まごころ協力金』 始める

会員1人年間100円のご寄付をお願いします



2. 目的

老人クラブを未来永劫存続させるため

生きがいづくり

趣味・文化・レクリエーション等



健康づくり

健康学習・運動・体力測定等



仲間づくり

例会・声かけ・友愛・親睦・旅行等



地域づくり

環境美化・
リサイクル・
ボランティア・
世代間交流等



3. 送金先

埼玉県老人クラブ連合会事務局及び
お住まいの市区町村老人クラブ連合会事務局

編集後記

令和七年度に入り、梅雨の時期が非常に短かく記憶に残らず、いきなり盛夏に入ったと思うのは、私だけだろうか。

気温がどんどん上昇し、いまや35℃は通常となる毎日です。熱中症で搬送される人が多く、危険な熱さと放送されています。

世界に誇れる日本の四季、あたり前の様にあった自然の移り変わりはどこへ行ったのだろうか？ 遠い昔の時代を懐かしく思い起こしている昨今です。

そんな中、県老連は元気に今年度計画により、7月25日新任・中堅会長研修会を開催しました。健康づくり大学生と合同の為、会場は満席、多数の参加を頂き盛大に開催されました。前向きな質問も多数あり「彩愛クラブ埼玉は健在です」と感じました。
熱中症には気をつけましょう!!

戸田市 石川 みよ子

『彩愛クラブ埼玉』は、
赤い羽根共同募金の
助成を受けて発行しています。



埼玉県老人クラブ連合会元会長
高橋義一氏のご逝去について

(享年九十七歳)

去る七月十五日に埼玉県老人クラブ連合会元会長 高橋義一様のご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。